

議之中有中將兼帶之人者、次將不稱入御警蹕、歎元日不遺祿所參議儀也。

〔友俊記〕年中御作法の大概物がたり。略○中 一夜に入て元日の節會おこなはる。略○中大中納言の

御子參議、四位參議、顯職の卿、相獨床子、南面一列、辨、少納言、獨床子、東面一列、外記史、獨床子、東面後

列、史生官、掌召使等、長床子、後列なり、是よりさきに堂上殿上の公卿の間にて獻をたまふ、かはら

げにさくめんをもちて取給ふ、銚子提あり、内辨は清涼殿の議定所にて獻あり、殿下は奏聞の内

覽にまゐり給ふ。略○中 刻限出御あり、命婦、劔璽をとる、かた手にすゑて、片手には檜扇にて顔をお

ほふ、次に内侍かた手に寶劔の柄の方をどりてかたにかけ、かた手に檜扇をかざす、典侍璽の筥

をかた手にすゑて、檜扇をおほふ。略○中 次に脂燭の殿上人、四位五位御さきに立てもつ、横行なり、

次に藏人頭晝の御ましの御劔を兩手にさ、げもつ、御柄を御前のかたにまゐらす、是も横行な

り、殿下は御裾をとらせらる、殿の官人庭上東庭立明して脂燭をさ、ぐ、扶持の殿上人は女中

につきてきぬのすそをたすく、主上南殿の御帳臺の御倚子に著御、晴の御膳脇の御膳一の采女

略○中 陪膳にまゐる、内侍は西階にのぞみて内辨を召す、内辨兀子をたち、ねり出て南階にのぼり

たまふ、開門闢司舍人まちきんだちなどの召きこえ、外辨の公卿あくをたちて□□□の標につ

き、諸卿再拜、外記空盃をす、め、諸卿再拜、□□西階より昇殿、こんとんにすわり、一、こん、二、こん、三

こん、立樂、内辨下殿、外記をして宣命の事を仰す、内記宣命をす、む、外記見參祿法等をす、む、入

御あれば、弓場より職事をもて奏聞、内侍奏聞のうち返し下る、内辨宣命を參議の人にたまふ、諸

卿下殿、宣命使版につき、宣制一段、群臣再拜、又一段、群臣再拜、上首離別祿所にむかひ、祿をたまは

りて各退散。

〔嘉永年中行事〕元日節會 今宵は群臣をめし、豊の明り聞しめす式なれば、秉燭の程、清涼殿の朝

餉にて黄櫨の御袍をめされ、額の間より出御、兼て設けたる筵道の上を歩み給ひ、南殿の御後に